



一般社団法人 日本LD学会

Japan Academy of Learning Disabilities

会 報 第100号

【事務局】 〒108-0074 東京都港区高輪 3-24-18 高輪エンパイビル 8F
TEL:03-6721-6840 URL:<http://www.jald.or.jp>

主な記事

<特集>

- ・会報 100 号記念特集
- ・第 25 回大会（東京）報告
- ・公開シンポジウム（大阪）について

<連続講座>

- ・海外情報

<お知らせ>

- ・第26回大会（栃木）のご案内
- ・公開シンポジウム（新潟）のご案内



歴史の重みを新たな発展の礎に

東京学芸大学名誉教授・一般社団法人日本 LD 学会前理事長

上 野 一 彦

本学会会報が 100 号という記念すべき節目にきた。会報の創刊は 1992 年 7 月 31 日、学会（当初は日本 LD 研究会と称した）の設立総会が同年 11 月 23 日。機関誌の創刊は翌年 7 月 31 日であった。会報の発行は年 4 回の発行であるから歴史的には 25 年、四半世紀となる。

1993 年 11 月「日本 LD 学会」と名称変更、さらに 2009 年 4 月には「一般社団法人日本 LD 学会」と法人化された。発足当時、わずか 300 名足らずの会員であったが、今日 9000 名を超える教育界では最大といってもよいほどの大きな学会に成長した。

学会設立時、私は設立準備の半ばで、文部科学省の在外研究のため日本を離れており、インターネット環境がまだ不十分だったなかで、電話と FAX で報告を受けるのみであった。その後、第 3 回総会（1994 年 10 月）で、会長を長瀬先生から引き継ぎ、法人化された後の 2014 年 6 月まで理事長を務めた後、柘植先生にバトンタッチした。

思えば疾風怒涛、激流の中の四半世紀であった。

ご存知のように近年、LD、そして発達障害への関心は急速に高まり、特別支援教育の新人協役から主役を演ずるまでに成長した。学会も会社に例えれば、家族経営の零細企業から中小企業、そして、近代的な大企業へと一気に駆け上った感もする。

特別支援教育や発達も、昨年「障害者差別解消法」の施行、「発達障害者支援法」の改正等により、「理解と啓発の時代から具体的対応と充実した指導」という第二期へ移行した。

まさに合理的配慮の具体的実践が試される時代への突入である。

こうした歴史の変革の重みを痛切に感じるほどに、次の時代への洞察と舵取りが、本学会の役割としてさらに増してきていると思う。会員相互の連携、皆さんの子供を思う心を核として、研究と実践のバランスのとれた次の時代への大きな飛躍を心から願うものである。